

弓道ながの

第32号

発行：長野県弓道連盟
会長 山川茂樹
〒396-0025
伊那市荒井3919-3
TEL.0265(72)3060
編集：県弓連広報部
印刷：榊宮澤印刷

年頭にあたって

基本を忠実に

長野県弓道連盟会長 山川茂樹



希望に満ちた
新春をお迎えの
ことと存じます。

今年の総選挙
は日本の政治に
大きな変革をも

たらしました。長く続いた自民党政治から民主党政治への政権交代です。長い経済不況も快復の兆しがなかなか見えません。新しい政権に景気回復の政策を期待したいところです。相変わらず暗いニュースが毎日の新聞を賑わしています。安心安全の明るい社会を作るために政治とともに国民の力を必要とするところです。

私達は弓道を修練することによって一層人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重し、明るい社会の形成のために

少しでも貢献していきたいものです。

県弓連の事業は会員皆様のご協力により計画どおり推進することが出来ま

した。特に若年層から強い要望があつ

た「若者のための勉強会」は、参

加者の熱意により大変効果の上

つた講習会となりました。新年度

は正式な講習会として計画したい

と思います。また新しく計画した

「参四段」の審査会も大変好評で

した。

全国舞台での大会では、第四十

二回全日本女子弓道選手権大会に

出場した降旗選手が見事優勝、皇

后杯が初めて信濃路に入る栄に浴

することができました。五月には

全日本弓道大会有段者の部で志村

選手が準優勝、トキめき新潟国体



祝射会での矢渡し

で成年男子が遠的準優勝、近的五位、成年女子が遠的五位に入賞、全国高校選抜大会では今村選手が男子個人で準優勝をするなど目覚ましい活躍がありました。

一方中央審査においては、八段二名、六段五名、教士二名、錬士十三名と一昨年に比較して多くの昇段昇格者がありました。特に昨年は二十年振りの八段合格者が生まれました。今後の県連の指導に大きな力になるものと期待するところです。

教士・錬士の一次通過者も七名と多く残っております。年末の特別臨時審査を目標に基本に忠実な体配の修練をする必要があります。昨年の指導方針は「原点にもどって基本体をきちんと

指導する」この方針に従って一年間講習会に力を入れてきましたが徹底しておりません。本年も原点に立ち返って指導する必要があると感じております。基本体の必要性について教本に次のように述べられています。

礼記では「射は進退周遷必ず礼に中り」とあるように少なくとも射場に入るに際しては、この心構えと行動がなくてはならない。内的には煩悩を去つて生気をたたえ、誠を尽くす覚悟が必要であり、外的には体の構えにも起居進退にも隙がなく、自然を保持して作法にかなった体配が必要である。射と体配とは分離した二つのものではなく、一貫されてこそ立派な射となり、風格・品位が表れるものである。

この意を体して基本に忠実に修練に励むことが晴れの場での力となります。会員の活躍を期待しております。

県弓連の事業計画は、常任理事会・事業部会で検討を重ね、立派に成案できました。一月の評議員会で決定をお願いする運びとなっています。会員の皆様には実施される事業に積極的に参加して、正しい弓道の修得に励み、各人の目標に対しその力を発揮することをお願いいたします。

年頭にあたり、県弓連のますますの発展と会員皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念してご挨拶と致します。

降旗奉子さん 優勝の栄冠に輝く!

第42回全日本女子弓道選手権大会 皇后杯、初の信濃路入り!

「ろ、矢そして碟にありがとう」

諏訪支部 降旗 奉子

平成十二年出場以来ブロック予選での結果が出せず、今回もボロボロの成績での県代表はとても悲しいものでした。

ただその間、全日本に出ることができたなら今までご指導いただいた先生方への感謝と全日本という大舞台に立てる喜びの射を引きたいと思っていました。

そんな気持ちで引いた予選、そして幸運にも決勝に残ることができました。決勝戦の張り詰めた空気の中、あま

り気負わずに引くことができました。

八射が終わったの休憩はとても長く感じられ、早く十本を引き終えたい、そんな気持ちで最後の一手を持ち入場した時、位置を少し間違え瞬間アツと気がついたのです。そうしたことで心が動揺したのか九本目的の下六時へ「バサッ」。そして十本目気持ちを静めた

これが「初めの一本」と思ってた矢は中りホッと胸をなでおろし、退場の礼は最敬礼をしたいほどでした。決勝を引き終わって控え室に戻った

私は今日一日私の体の一部となつて働いてくれた弓、矢、碟を前に心から「ありがとう」と言つて頭を下げました。今までそんな気持ちになつたことがないのに不思議な瞬間でした。

優勝を決めた十本目の会

私ほかの選手がどんな状況かも知らない中、背中から「大丈夫だよ」「あつ、一寸待つて、競射になるか

も」と言うような声が聞えてきました。最後の立ちが終わり「お母さん、優勝だよ」「おめでとう」の声がかかってきました。

優勝が決まつてからが大変「優勝してしまった、困った、困った、私なんか優勝していいのだろうか」おろおろ。審判員席の山川先生にとつても「まさか、まさか」の連続だつたと思います。

二位以下の競射が始まり私は控え室から外に出ると、真つ先に山梨県代表の妹さんの応援に来ていた飯田の木下美乃里さんが飛んできて「おめでとう、嬉しくて泣いちゃったよ」。そして一緒に泊つた北信越の皆さんの笑顔で「おめでとう、おめでとう」。そんな中、家に電話「優勝したよ」の返事は「嘘だろう、冗談も休み休み言え」でした。

優勝の実感もなく閉会式では役員の方の言われるまま皇后杯、賞状、副賞などをいただき、最後に鈴木三成会長の総評のなかで「降旗選手は私の先輩である浜先生のお弟子さんと聞きまし。この言葉聞いたとたん療養中の浜与祐先生が頭をよぎりました。私は思わず目頭を押さえていました。

またそれからが大変。役員の方には呼ばれて道場へ「これが降旗さんのものです」そこには机一杯に並べられた皇后杯、優勝カップ、盾、賞状その他副

賞の山。役員の手助けで、手袋をはめ恐る恐る皇后杯を木の箱に収め、ジュラルミンのケースに入れ持ち上げると重い、重い。

そして一言「他の荷物は宅急便で送っても良いが、皇后杯だけは自分で持つて帰ってください。一時も目を離さないように」とのお達し。こんな重いものを持つて駅の階段を昇り降りするのかもしれない。

その時「天の助け」飯田の木下美乃里さんが車で来ており「私、妹を上諏訪駅まで送るので一緒に帰りませんか。」本当に「地獄で仏」とはこのことでしょう。また永藤先生には荷物を運んでいただきました。

連休で渋滞の中、美乃里さんの車で岡谷の我が家まで送っていただき、本当に感謝、感謝でした。

それからはお祝いの電話やお手紙そして取材と慌ただしい毎日でした。

今まで指導していただいた先生方、やさしく見守ってくれた弓士の皆様に感謝。弓のことなら目をつぶつてくれた家族に感謝。

今まで通り楽しい弓、競う弓、極める弓。それぞれに小さな目標を持つて大好きな弓の中に身をおきたいと思えます。

長野県の弓士の皆様「本当に有難うございました。」



トキめき新潟国体

『男女総合四位に輝く』

長野県弓道連盟 強化部長 北嶋 晋



九月二十一日、ビッグニュースが飛び込んできました。『降旗奉子先生全日本選手権優勝』。それは新潟国体に向

女子に続けと男子の遠的予選。去年の悪夢が脳裏を過ぎります。仮設会場で中心に集中させて高得点を記録しながら、本番では自滅しましたから。一回目皆中で七十七点、二回目これまた皆中の八十点で合計百五十七点。予選二位通過でした。男子も入賞確定です。

から数日前のことでした。『我々も後に続こう』と心の中で誓いました。今年には過去六年間連続で本国体入賞を果たしてきた少年男女が北信越で敗れ、成年男女の二種別での戦いです。成年男子は昨年悔しい思いをしました。成年女子は四年ぶりの出場で二人は本国体初陣です。そんな様々な思いを秘めて新潟市へ向かいました。

大会二日目は近的予選です。仮設で悩みながらも調整を終え本番に臨みました。一回目五中、二回目六中合計十一中できまかの予選敗退。こういう時何と声をかけたらよいのか長年やってきました。その都度迷います。遠的決勝トーナメントに懸けよう。男子予選は一回目十一中。本番で自分の力をアウフヘーベンするのだ。二回目も十一中。一位タイの予選通過でした。去年のリベンジを果たしました。今年はレベルが高く、二十一中以上が予選通過でした。

競技初日、女子の遠的予選から始まります。これまでの強化練習の中で各選手力をつけてきました。そのままを出せば予選突破は確実ですが、どきどきしながら一回目、まずまずの六十八点、二回目がんばった七十六点、終わってみれば合計百四十四点で一位通過でした。宮城国体以来は入賞かぶりの予選突破でありました。入賞確定です。

大会三日目は遠的決勝トーナメント。成年女子は一回戦対徳島戦です。六十点対七十一点で敗れ、すぐに五から八位決定戦にまわりました。ここで彼女たちが実力を発揮してくれまし

た。一手皆中で四十四点をたたき出し、埼玉県を一点差でかわし五位を取りました。本当に立派な行射でありました。男子の決勝トーナメントが続きます。一回戦の相手は地元新潟県。去年は優勝しています。圧倒的な数の応援の中、我々も声をからして負けじと応援しました。的中では一本負けながら、点数は七十四対六十七で準決勝に進出しました。準決勝の相手は東京です。皆中の十五点差で退け、夢にまで見た決勝です。相手は熊本、一進一退の行射の末、的中は十中同士、計算ができませぬ。勝つていてくれと祈るばかりでした。残念二点差で敗れました。

大会最終日、各県とも近的は力の差はほとんどありません。一回戦の相手は広島です。大前が一本目を外し、あとは詰めています。こちらは〇を続けています。七本目を外し同中のまま落ちの四本目勝負。広島が的中し、固ずを呑んで見つめる中こちらがカッチンで外し敗れました。一昨年の決勝のリベンジを果たすことは今年もできません

た。その後、五から八位決定戦の一手を皆申し五位を確保しました。本年は成年が本当にがんばってくれました。優勝と言う『忘れ物』を取りに来年は千葉へ出かけることを心に誓い新潟をあとにしました。

最後に、数多くの激励のファックス、遠いところを応援に駆けつけて下さった多くの方々、また強化練習に快く道場を貸して下さった各支部の皆様、本当にありがとうございました。



表彰式後、全員で記念写真を撮る

(C) Nagano Kyudo Federation

第二十二回

「ねんりんピック北海道札幌二〇〇九」に参加して

監督 五段 竹内 博 (長野支部)

平成二十一年九月五日開催の『ねんりんピック北海道大会』に向けての選手選考が五月二十三日に上田弓道場で行われ、参加六十三名の競射の結果、鈴木清重さん(上伊那)、廣田義照さん(木曾)、鎌祐子さん(木曾)、林義泰さん(木曾)、名取吉幸さん(諏訪)、永島淑子さん(長野)、竹内博(長野)の七名が選考され、一昨年の茨城大会を経験しているという理由で私が監督を引き受ける事になった。茨城大会では県連副会長の清水先生監督の下で参加六十四チーム中、ベスト8の成績を残せたので、今回は出来ればそれより上位を狙おうと密かに心に誓いました。

県の長寿社会開発センターが窓口で何度か打合わせ、チーム名を『信州弓魂』と命名した。強化練習は塩尻市営弓道場で行い、初回到県連会長の山川先生のご指導を受け、強化練習を重ねて一週間前の最終練習では、かなりの期待がもてるまでになりました。弓を一括して運送便で宿泊先へ送り、各自手配となっていた帰路の航空券も事前予約で全員分が割安で取れて助かった。九月四日早朝、県下四ヶ所から他種目の選手と指定バスで羽田空港へ向か

い合流したが、県のユニフォームは目立ったのですぐ見付かった。チーム全員笑顔で体調も良さそうで安心した。女満別空港へと飛び立ち、一時間五分程のフライトで十五時一〇分に到着し、迎えのバスで宿泊先のホテルへ向かった。広々とした平地や丘陵地を走った。北見市郊外では玉ねぎの収穫期で、シートで被った大きなコンテナがたくさん目に映った。ホテルへは夕方四時半頃着き、運送便で送った弓も着いていた。清水県連副会長と平野競技



チーム「信州弓魂」の面々

部長の両先生から激励の電報が届いていて皆さんに披露し、発奮しました。宿泊する湯根湯ホテルは北見市街地から相当離れた温泉地の川と樹木に囲まれた静かな所であり、この温泉宿での四連泊は嬉しかったです。

九月五日は開会式が午後一時、二時から湯根湯温泉スポーツセンターを会場に監督会議が行われ、会場入口で大勢の役員や関係者の皆さんに盛大に迎えていただいた。各県の六十五チームが参加、総参加人数が約五〇〇名と圧倒された。選手の中に範士の先生方も見え、大会の重さを感じました。歓迎アトラクションが盛大に披露された後、開会式が始まった。チーム毎に起立し選手団の紹介や参加最高齢者として地元の範士野呂健吉先生(九十一歳)が表彰される等、立派な式典でした。

九月六日は一回戦の交流大会で、広い会場に緊張感が漂っていた。北海道弓道連盟会長教士八段高田昌浩先生の矢渡しも見事でした。競技は四ツ矢の

坐射で時間制限はなく、我々信州弓魂は三十六番の第二射場、十一時半開始。結果は七中で、明日の二回戦に何とか頑張ろうとチーム全員で誓い合う。

九月七日二回戦を迎え、昨日の競技で少し緊張が解かれた様に思われるが全員の意気込みを感じた。十一時過ぎに信州弓魂チームの二回戦が始まった。結果は一回戦の成績を上回ったが、決勝トーナメント進出に僅かに及ばず、上位十六チームに入らず、申し訳ない結果となり監督として大変責任を感じずる次第です。午後、皆さんの希望で、タクシーで網走方面を観光し、楽しい思い出作りが出来ました。

九月八日は昨夕からの雨降りの帰路となり、午前十時三〇分のJAL便で羽田空港に着き再会を誓って解散。それぞれの郷里に全員病気や怪我も無く元気に向かった。今回のねんりんピックにご助力下さいました先生方及び関係の皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

祝 齋藤節朗先生 秋の叙勲で瑞宝双光章を受章

昨年秋の叙勲で長野県高体連弓道専門委員長や全国高体連弓道専門部長のほか、長野県体育協会理事、県弓道連盟の常任理事、理事長、副会長の要職を歴任された齋藤節朗先生(教士七段)

が弓道競技の普及発展のみならず、広く県内スポーツの振興に貢献された業績を高く評価され、瑞宝双光章を贈られました。誠に同慶の至り、心からお祝い申し上げます。



左から土川・久保田・市川・亀岡・志村の各選手

地連対抗戦 県代表選手、堂々の三位入賞！ 全日本弓道連盟創立六十周年記念式典及び祝射会

評議員 外蘭 公毅

標記の記念式典、祝射会が十月十七日、十八日に行われ、全弓連評議員の立場で出席してきました。一日目の記念式典、祝射会は新宿プリンスホテルで行なわれ、長野県からは山川会長を始め、範士・高段者の先生方と地連対抗戦に出場する代表選手五名の計十二名で参加しました。記念式典の表彰式では小林義行先生が範士功労賞を受賞

されました。また野村萬氏の狂言上演があったり、祝賀パーティーでは自らも弓道が大好きという高円宮妃久子殿下の御臨席もあり、その気さくでにこやかな笑顔を身近に拝見し、またご馳走も大変頂き皆感激しておりました。二日目は祝射会と地連対抗戦が行なわれ、祝射会の矢渡し、特別演武は何か見られましたが、高段者の演武は地連対抗戦が始まり、長野県は立順三番と早かったのでゆつくり見ることは出来ませんでした。地連対抗戦の結果は既にご存知のことと思いますが、予選は十七中と一位タイのすばらしい成績で上位十六チームに残り、決勝トーナメント一回戦は岩手県を七中対四中で簡単に退けましたが、準々決勝の大阪とは同中となり四回の競射を制し準決勝に進みましたが、精魂を使い果たしやや疲れも見えました。準決勝戦の対大分県ではまたもや競射となり、競射一回目で力尽き三位に終わりました。チームワークもよくすばらしい闘いでした。

第三十九回北信越弓道選手権大会 本県若手選手が大活躍！

去る十一月八日、石川県立武道館で開催された標記大会の有段者の部で、本県代表(志村仁・中村宏・市川隆光)選手が団体優勝、中村宏選手が個人優勝、市川隆光選手が二位に入賞しました。志村・市川両選手は新潟国体や全弓連創立六十周年記念地連対抗戦の選手としても活躍し、本県若手弓士の大黒柱として今後の活躍が大いに期待されています。なお、この大会では称号者の部で(清水和代・相原由美子・相

二〇〇九信州ねりんピック 初代チャンピオンに土川選手

九月十九日(土)上伊那郡辰野町の荒神山弓道場で第一回大会(主催者・長野県長寿社会開発センター)が開催された。本大会は今年度になってから計画されたため、PR不足もあって参加者は十九名にとどまったが、熱戦が繰り広げられた。河岸段丘崖上に建つ道場に、天竜川から吹き上げる川風が木々の梢を揺らす中、射場では段差の上り下りに合わせ「よいしょ」「どっこいしょ」の掛け声が彼方此方から漏れ聞こえ、如何にもねりんピックらしい、和やかな

澤勝造)の本県代表チームが団体に三位に入賞しています。



戦い終えて、自信漲る選手団

雰囲気の大会となりました。

参加者の男女の内訳は、男性十七名、女性二名、最高齢は八十三歳、最年少は六十歳でした。結果は次の通りです。

◎個人戦(十二射)

- 一位 土川俊市(塩尻市) 十中
- 二位 鈴木清重(駒ヶ根市) 十中
- 三位 平澤孝一(伊那市) 九中
- (二位・二位は射詰め、三位は遠近で決定)
- ◎最高齢者賞(男女各一名)
- ☆男性 林 義泰(木曾町) 八十三歳
- ☆女性 鎌 祐子(塩尻市) 六十一歳



「身の丈にあった弓を」

諏訪支部 降旗 奉子

私の父の口癖は「何か一生懸命になれることを持て」でした。その父について近くの弓道場に行くうちに、私も弓を引きたいと思うようになり昭和三十三年高校入学と同時に弓道部に入りました。当時は道具などすぐ手に入るわけも無く先輩が使った年季物しかありませんでしたが、コーチの「弓は大きく引き、大きく離せ。矢の行き先は矢に聞け、残身は堂々と」の教えを受けのびのび弓を引くことができました。

社会人の弓引きになってからようやく母の手作りの道着と袴がそろい、浜先生をはじめ協会の方々と各地の大会に出かけ、大勢の人々とふれ合うことができ、人としての生き方を学んだような気がしました。
女性の弓士は数えるほどの時代でした。長野の故郷岩積子先生、松本の竹内律子先生のお二人が長野県の女子の牽引者としておられ、私は妹として可愛がられお世話になってきました。その竹内先生が八段昇段と一緒に今年、教士に合格したのも何かの縁であり、光栄に思っています。



全日本で優勝直後の筆者

経験不足、勉強不足で教士論文は四苦八苦。五十半ばで亡くなった父も天国で「お前が教士、大丈夫かいな、でも一生懸命になれるものを見つけて良かったな」と喜んでいることと思えます。今年、思いもよらない全日本女子選手権大会で優勝し、「歴代最高齢での優勝」と大きく報道されましたが、これからの長野県を背負う若い人の応援団として少しでもお手伝いができればと思っています。

教士合格は一つの目標ではありませんが、私は今までどおり道場の矢拭き、雑巾の洗濯は私の仕事として、身の丈に合った弓を楽しく引いていきたいと思っています。

私と弓道

大北支部五段 窪田 和恵

十一月十五日・十六日長野県教職員弓道伝達講習会に参加させて頂きました。弓道を始めてからは毎年参加しておりますが、本年度も、初めて参加される先生から教士六段の先生まで全県から四十人近い先生が参加され、土川先生からご指導頂きました。

参加して毎回思うことは、弓道は人の輪を広げてくれるということです。講習会を始め、大会で知り合う方や、大北支部や千曲道場の方など、弓道を通して知り合えた方々がたくさんいます。また人格的にも素晴らしい方が多いのも弓道というスポーツの特徴だと感じます。
私と弓道の出会いは九年ほど前になります。当時同じ職場で弓道部を指導されていた山田先生から、AETに弓道を教えたいから通訳をしてくれ、と頼まれたことがきっかけでした。それまで一度も足を運んだことのなかった道場に初めて行きました。「折角だから一緒にやってみたら」と誘われ、AETと一緒に引かせてもらいました。「筋がいい

んじゃないか」と煽てられ、そこから弓道の面白さに引き込まれました。当時は大町高校で生徒と一緒に指導してもらいながら稽古をしました。大会に参加するようになると、普段の生活では味わうことのないような、あの独特な緊張感と悔しさに魅力を感じるようになりました。今も射会や大会に参加するたびに自分自身の弱さや内面の重要性を痛感します。

五年前に長野に転勤になり、一旦は弓道から少し離れる状況になりましたが、千曲弓道会の田島先生や、当時顧問だった古沢先生に声を掛けて頂き、続けることができました。

最近はなかなか稽古の時間が取れずに上達もせず、お恥ずかしい状態ですが、私が大会や講習会に参加している間、子供の面倒を見てくれる家族や、多くの方に支えられながら弓道を続けられる事に感謝しております。



池田町弓道場で弓を引く筆者



「東京定期中央審査を終えて」

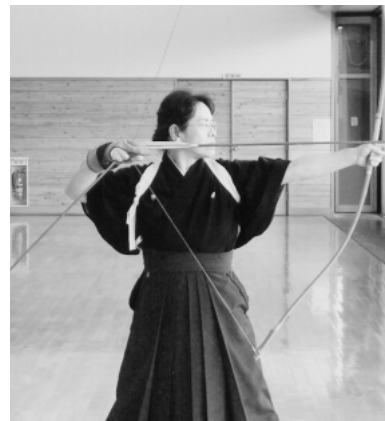
飯伊支部 藤澤 敏子

十一月の東京定期中央審査は、強風が吹き落葉舞い上がる一日でしたが、この日は例年になく暖かで審査会場の至誠館で震えることもなく受審できました。

ここ至誠館は、私が初めて全日本近代的選手権女子大会(平成十一年)に出場した会場です。そして自分の射の未熟さを痛切に知り、これでは駄目だと自覚した苦い思い出の道場でした。同じ道場で教士の称号を拝受できましたことは、ひとえに山川先生始めとする多くの先生方、また弓士の方々との出会いとご指導のおかげであると心から感謝いたしております。あれから十年、私にとって感慨深く、意味深い年月でした。

審査会場からの帰りに娘から「癌克服して良く頑張ったね、おめでとう」と連絡が入り、そう言えばと昨年二月乳癌手術を受けたことを思い出しました。

思い返せば当時は辛く悲しい想いで一杯でした。その時に友達から「いつか再び弓が引ける様になった時、弓を引ける喜びや、有難いと思う気持ちが



県営飯田弓道場での筆者

つと貴方の射に深みを与えてくれると信じます。プラスはあれどマイナスはなし。」と励ましの文を頂きました。その言葉を心の糧に弓をやりたい一心で治療を受け今日に至っています。射の深みはまだまだ遠く及びませんが、喜びや有り難い気持はずっと持ち続けています。弓道での出会いは私の一生の宝です。弓に向かうそんな私を快く送り出してくれる夫にいつも感謝しています。

終わりに微力ではありますが、今まで受けた恩に報いるためにも、地元弓道会はじめ長野県弓道連盟に少しでも貢献できるよう務めてまいりたいと思います。

弓仲間紹介

「佐久弓道会」

五段 篠澤 英次

北に浅間山、南に八ヶ岳、中央には千曲川が流れる佐久平のほぼ中心部に駒場公園弓道場があります。近

遠的場を備えているこの道場は、周りをカラマツや白樺並木に囲まれ、夏にはさわやかな高原のそよかぜが吹き抜け、秋には絶え間なくカラマツの落葉が矢道に降り注ぎ、格別の心地良さを感しながら稽古が出来る弓道場です。現在佐久弓道会会員は四十名程で、昼夜を問わず日々の稽古に励んでおります。



駒場公園弓道場にて仲間とともに

盛んに開催しております。近年は、多くの若者が新たに仲間に加わり、会員数も増えて参りました。学生時代に弓道を経験した若者が、弓友を誘い合いながら道場を訪れてくれるのです。会員の増加に伴い、以前より道場に活気が満ち溢れてきました。

例会は近的を中心に行い、春からは遠的も種目に加え、又秋には五十射会などのイベントを取り入れながら、会員の技術向上及び親睦を深め

の拡大や地域への普及に寄与し、会員それぞれが目標に向かって楽しく、明るく・元氣よく・長く続けられるような会にしていきたいと思っております。今後とも、佐久弓道会を宜しくお願い致します。



祝射会開会式の風景

平成二十一年度 祝射会が賑々しく開催さる

十一月二十二日、塩尻弓道場で二十一年度の祝射会が開催された。本年度は表彰される会員が三十二名と多く、賑やかな祝射会となった。山川会長挨拶に続いて表彰者への賞状と記念品授与が行われ、降旗奉子さんから皇后杯授与の喜びの報告がされたあと、受賞者を代表して県体協有功章を受けた平野英孝さんが謝辞



副会長による一ツ的射礼

を述べ式典を終えた。その後、祝射会に移り、山川会長による矢渡しに続き、二射場に分かれて大久保・小林・宮澤の三範士と外蘭・清水・土川の副会長三人が一つの射礼を行い、続いて参加者が五人立・二射場に別れ一手指射し祝射とした。今年度は競射会とせず、皆中者にタオルが手渡された。祝射の後、全国大会入賞者、錬士昇格者、退任者の順に答礼射が行われ、最後に八段昇段者と有功章受賞者、教士昇格者の六名が二組に分かれて一つの射礼で答礼射して、予定通り午後一時に祝射会を終えた。その後、百十余名の会員が参加し

ホテル中村屋で賑やかに祝宴が開催され、盛会のうちにお開きとなった。

平成二十一年度 表彰者名 (敬称略)

○表彰関係者

皇后杯授与者
叙勲者(瑞宝双光章)
県体協有功章受賞者

○大会入賞関係者

高校選抜大会
全日本弓道大会
新潟国体成年男子

○退任関係者

新任理事
常任理事

支部長

古澤 金蔵
大蔵 務
中山 正夫
池島 勁

○昇段関係者

八段 竹内 律子
七段 杉田 博

○昇格関係者

錬士 荒井 清
教士 荒井 清
荒井 清
降旗 奉子
伊藤 敏子
藤澤 敏子
大和 邦浩
大和 孝吉
大和 孝吉
大和 孝吉

錬士

荒川 保
高畑 正之
廣田 義照
松島 一夫
米山 多美子
中山 美穂
石田 真

石田 真
中村 美穂
米山 多美子
松島 一夫
廣田 義照
高畑 正之
荒川 保

増田 亮
柴田 種徳
荒井 美子
春原 美子
笹本 常夫
大和 孝吉
大和 孝吉
大和 孝吉

弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立 1ヶ所 (床暖房完備)
12人立 2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP : <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861



◆第49回弓道須坂大会(須坂市菅弓道場)

○高校生の部(8月22日)

★高校の部 近的団体の部 男子

- 1位 屋代(宮島・細田・山口)
2位 長野日大(北原・遠藤・大日方)
3位 中野立志館(塚野・大内・萩原)

★同 女子

- 1位 須坂(吉澤・柴本・上嶋)
2位 長野吉田(中島・林・和田)
3位 長野西(江村・佐々木・越志)
★近の高校個人の部 男子
1位 北原明典(長野日大)
2位 宮島 諒(屋代)
3位 妻島透基(長野)
4位 大内達哉(中野立志館)
5位 遠藤融成(長野日大)

★同 女子

- 1位 中島美咲(長野商業)
2位 柴本美帆(須坂)
3位 黒崎美帆(中野西)
4位 江口彩香(飯山北)
5位 藤澤めぐみ(長野吉田)
★一般の部 近的団体の部(8月23日)
1位 飯山市C(武川・小坂・河野)
2位 とんぼ(松澤・等々力・大蔵)
3位 上小支部(高木・高橋・戸田)
★近的個人の部
1位 松倉 志(尚弓会)
2位 小山謙太郎(須坂弓道会)
3位 大蔵 務(とんぼ)
4位 神田裕司(須坂弓道会)
5位 新津一夫(一の会)

★遠的個人の部

- 1位 安藤直貴(須坂弓道会)
2位 戸田裕子(上小支部)
3位 小山謙太郎(須坂弓道会)
4位 西澤 徹(大町)
5位 棚田千鶴(一の会)

★金の賞
郷道隆志(中野)
等々力純子(とんぼ)

神津明男(尚弓会)
小山謙太郎(須坂弓道会)

◆第39回北信越連合弓道選手権大会長野県予選会

○10月4日(塩尻市菅弓道場)

- ★男子有段者の部
1位 市川隆光(諏訪)
2位 中村 宏(諏訪)
3位 志村 仁(諏訪)
4位 亀岡英司(南佐久)
★女子有段者の部
1位 戸田裕子(上小)
2位 浦野恵末香(松本)
3位 栗林 薫(松本)
4位 高山寿恵(飯伊)

★称号有段者の部

- 1位 相澤勝浩(諏訪)
2位 相原由美子(小諸)
3位 清水和代(飯山)
4位 永島淑子(長野)

◆第29回飯山市民弓道大会

○10月11日(飯山市民弓道場)

- ★高校の部 団体
・女子 1位 飯山北(江口・青木・原田)
・男子 1位 飯山北(小林・佐藤・高橋)
★高校の部 女子個人
1位 上野桜実(飯山北)
2位 青木麻優(飯山北)
3位 芳川加純(飯山北)
★高校の部 男子個人
1位 高橋政也(飯山北)
2位 佐藤孝幸(飯山北)
3位 小林一平(飯山北)

★一般の部 女子個人

- 1位 清水和代
2位 富井浩子
3位 福沢信子

★一般の部 男子個人

- 1位 岡田宏之
2位 飯田秀樹
3位 石田 真

◆第29回池田町秋季県下弓道大会

○10月11日 池田町弓道場

- ★個人の部(一般・高校共通)
1位 福沢潤哉(上田)

- 2位 田中竜太(大町)
3位 高橋 俊(豊科)
★団体の部(一般)
1位 池田D(吉野・窪田・山田)
2位 大町あ(竹山・竹山・西澤)
3位 大町いろは(谷・伊藤・丸山)

★団体の部(高校)

- 1位 豊科高校A(小林・高橋・小林)
2位 豊科高校C(中谷・藤松・沢渡)
3位 上田高校(福沢・中村・鷹野)

◆第51回駒ヶ根市民弓道選手権大会

○10月12日 駒ヶ根市弓道場

- ★高校男子
1位 酒井岳志(赤穂)
2位 太田佳祐(駒工)
3位 吉原祐希(赤穂)
★高校女子
1位 浦野あん(赤穂)
2位 伊東さゆみ(赤穂)
3位 増島あい子(赤穂)

★一般の部

- 1位 高伸成人
2位 湯澤幸司
3位 小沢剛志

★特別賞(オープン参加最高の中者賞) 笹岡達也

- ◆第41回北信越学生弓道選手権大会(関係分)
○10月10~12日 信州大学体育館仮設道場
★男子団体
1位 信州大学 5勝0敗(320射249中)
★女子団体
1位 信州大学 5勝0敗(160射106中)
★男子個人(20射)
1位 平松鉄兵(信大) 20中
4位 濱 隆彦(信大) 17中

★女子個人(20射)
1位 藤村公美(信大) 15中

- ◎王座出場校
・男子 信州大学
・女子 信州大学
◎東西対抗戦出場者
・男子 平松鉄兵(信大)
・女子 藤村公美(信大)

◆平成21年度長野県高等学校新人体育大会弓道競技会
○10月17~18日 塩尻市弓道場
★男子個人

- 1位 塚野俊宏(中野立志館)
2位 大内達哉(中野立志館)
3位 洞口拓海(岡谷南)
★女子個人
1位 瀧澤知世(長野日大)
2位 矢島 愛(下諏訪向陽)
3位 上野亜理紗(岡谷東)

★男子団体

- 1位 東海大三(野沢・村上・宮島・米倉)
2位 長野西(小林・平田・須山・有川)
3位 赤穂B(松岡・吉原・中原・山田)

◆第7回千曲市長杯弓道大会

○11月3日 千曲市弓道場

- ★男子の部
1位 中野立志館(塚野・大内・小林・平瀬・萩原)
2位 須坂(章野・尾島・藤澤・坪根・久保田)
3位 長野吉田(横田・矢野・名古屋・宮澤・小池)
★女子の部(参加29チーム)
1位 中野立志館(大川・高野・村松・高相・湯本)
2位 上田(東川・飯吉・関・堀澤・春日)
3位 須坂(柴本・湯本・岡田・原・鶴田)

○一般の部 11月8日 千曲市弓道場

- ★近的個人(参加者29名)
1位 飯塚邦洋(長野市)
2位 窪田和恵(千曲市)
3位 本藤幸恵(長野市)
4位 高畑正之(千曲市)
5位 岡田宏之(飯山市)

◆第21回国宝松本城お城まつり奉射弓道大会

○11月3日 松本市弓道場

- ★高校男子
1位 小口光祐(岡谷南)
2位 高橋恭平(松本深志)
3位 松田大輝(松本県ヶ丘)
4位 原 健太(田川)
5位 小林佑輔(豊科)
★高校女子
1位 知見萌子(松本深志)
2位 岡村奈実(松本蟻ヶ崎)
3位 中沼由美(梓川)

- ★一般
- 4位 清水彩香 (松商学園)
- 5位 横山 楓 (松商学園)
- 1位 中村武尊 (信大)
- 2位 亀岡英司 (南佐久)
- 3位 本藤幸恵 (長野市)
- 4位 飛鳥川俊郎 (上伊那)
- 5位 生田憲克 (諏訪市)

◆第44回県下弓道飯島大会

○11月15日 飯島町弓道場

- ★個人 (学生の部)
- 1位 阿部峰大 (諏訪二葉)
- 2位 野澤和樹 (東海大三)
- 3位 半崎千早 (伊那西)
- 4位 太田佳祐 (駒ヶ根工)
- 5位 大内結花 (岡谷南)

- ★個人 (一般の部)
- 1位 平澤敏弘 (豊丘)
- 2位 山田静香 (弓魂)
- 3位 阿部直登 (弓魂)
- 4位 相澤勝浩 (茅野)
- 5位 内山喜照 (天空)

- ★団体 (高校・一般共通)
- 1位 弓魂 (笹岡・山田・阿部)
- 2位 諏訪二葉 (藤森・安藤・阿部)
- 3位 豊丘 (中村・坪井・平澤)

★射詰賞 (男子)

- 男子 阿部峰大 (諏訪二葉)
- 女子 半崎千早 (伊那西)

◆第28回長野県教職員弓道選手権大会

○11月14日 岡谷市弓道場

★個人

- 1位 田中和彦 (長野南)
- 2位 矢部誠一 (辰野)
- 3位 清水 寛 (市立長野)
- 4位 増田 亮 (長野工業)
- 5位 中田真也 (伊那北)

◆第28回全国高等学校選抜弓道大会長野県予選会

○12月5日 小諸市総合体育館特設弓道場

★男子団体

- 1位 東海大三高校 (野澤和樹・村上康彦・宮島 司・米倉大貴)
- 2位 豊科高校 (小林洋希・高橋 俊・小林佑輔・滝澤大輔)

- 3位 岡谷南高校 (小口光祐・中條 仁・洞口拓海)
- 長野吉田高校 (菅谷宗徳・寺沢 翔・出澤雄太・梨本涼太)

- ★女子団体
- 1位 松本深志高校 (金谷優莉香・山田美菜・小泉美緒・遠藤友紀)
- 2位 下諏訪向陽高校C (宮坂奈那・梅原奈奈・矢島 愛)
- 3位 下諏訪向陽高校A (木下由紀恵・木島直美・熊田ゆい・荒木祐衣)

長野商業高校 (中嶋美咲季・西村麻耶・相澤菜摘・吉田歩加)

※男女とも 1位が3月の全国大会に出場

審査合格者

関東地区臨時中央審査

- ▽六段 荒川 保 (安曇支部)
- ▽八段 杉田 博 (松本支部)
- ▽教士 降旗 奉子 (諏訪支部)
- ▽教士 藤澤 敏子 (飯伊支部)
- ▽六段 辰野 正雄 (長鉄支部)
- ▽六段 日向 力 (南佐久支部)

東京定期中央審査

- ▽八段 中村 美穂 (上伊那支部)
- ▽教士 柴田 種徳 (上伊那支部)
- ▽教士 石田 真 (飯山支部)
- ▽教士 増田 亮 (佐久支部)

関東地区錬士臨時中央審査

- ▽錬士 中村 美穂 (上伊那支部)
- ▽錬士 柴田 種徳 (上伊那支部)
- ▽錬士 石田 真 (飯山支部)
- ▽錬士 増田 亮 (佐久支部)

東海地区錬士臨時中央審査

- ▽錬士 平澤 敏弘 (飯伊支部)
- ▽錬士 熊谷 佳子 (安曇支部)

お悔やみ申し上げます (敬称略)

錬士 五段 北原 偉 平 (78歳)

下伊那郡豊丘村 10月4日(土)逝去

「はなさい」

昨年秋に、某女子プロゴルフアーと会食した折りに、「最近の若いプロは、勝つ事だけに拘って、マナーの悪い人が多すぎる。」と歎いていました。

一昔前は、人気も今一つだったように思う女子ゴルフ界でしたが、今ではプロを目指す若い人も増え、トーナメントプロへの道も大変な狭き門と聞いています。その難関を突破するため日夜、技を磨く事だけに努力し、大事な何かを置き忘れていたのではないかと危惧します。

プロは、勝つ事は至上命題ですが、それだけでは、真の王者たり得ないのではないだろうか？話を聞きながら、的に中てる事のみには捉われて稽古している自分を見たような気がしました。「弓道は技なくしては成り立たないが、しかし技だけでも成り立たない」「技と心は糾える縄の如し」「心・技・体」が一体となつて、初めて人に感動を与えることが出来る。

挨拶、先輩を敬う心、道場での無駄な私語、練習態度、人を思いやる心：某女子プロと会話を楽しみなながら、思い知らされた一夜でした。(大山孝吉)

謹賀新年

全日本弓道具協会会員

中島弓具店

有限会社



限りない弓道心に 真心で御手伝い

〒380-0935 長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855